

設問1

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の第二条(理学療法士に係る学校または養成施設の指定基準)において、誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	理学療法士の免許を取得してから5年以上理学療法に関連する業務に従事し、大学で教育学に関する科目を4単位以上履修し、大学を卒業した者
A2	理学療法士の免許を取得してから5年以上理学療法に関連する業務に従事し、短期大学で教育学に関する科目を4単位以上修得し、短期大学を卒業した者
A3	理学療法士の免許を取得してから5年以上理学療法に関連する業務に従事し、厚生労働大臣の指定する講習会を修了した者
A4	理学療法士の免許を取得してから3年以上理学療法に関連する業務に従事し、大学院で教育学に関する科目を4単位以上履修し、大学院を修了した者
A5	3に掲げる者と同等以上の知識および技能を持つ者

正解 A2

指定規則では、学校教育法に基づく大学において教育学に関する科目を4単位以上修め、卒業したものと定められている。

設問2

理学療法士及び作業療法士法の第四条において、理学療法士及び作業療法士免許の欠格事由として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	理学療法士の業務に関し犯罪・不正があった者
A2	罰金以上の刑に処せられた者
A3	麻薬・大麻等の中毒者
A4	65歳以上の高齢者
A5	心身の障害により、業務を適正に行うことができないとして、厚生労働省が定める者

正解 A4

理学療法士免許の欠格事由の中で、年齢に関することは規定されていない。

設問3

理学療法士及び作業療法士法の第一条において、この法律の目的として、正しいものはどれか、1つ選べ。

A1	理学療法士および作業療法士の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もつてチーム医療の普及および他職種連携に寄与することを目的としている。
A2	理学療法士および作業療法士の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もつて社会福祉の普及とその責任を果たすことを目的としている。
A3	理学療法士および作業療法士の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もつて予防医療の普及および健康増進に寄与することを目指している。
A4	理学療法士および作業療法士の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もつて医療技術の研鑽および治療効果を向上させることを目的としている。
A5	理学療法士および作業療法士の資格を定めるとともに、その業務が適正に運用されるように規律し、もつて医療の普及および向上に寄与することを目的としている。

正解 A5

業務が適正に運用されること、医療の普及と向上に寄与することが理学療法士及び作業療法士法の目的である。

設問4

理学療法士及び作業療法士法の規定で正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	理学療法士免許証の本籍地都道府県名に変更が生じたときは、訂正を申請する必要はない。
A2	理学療法士の業務内容は応用的動作能力の回復を図ることである。
A3	業務上知り得た人の秘密を守る義務は退職後も継続する。
A4	治療体操やマッサージ、電気刺激、温熱等の物理療法は理学療法士のみ行うことができる。
A5	理学療法士免許証は都道府県知事が交付する。

正解 A3

本籍地変更については、都道府県名に変更がある場合、登録事項そのものが変わったと解され、法令に基づき三十日以内に訂正申請を行う義務が発生する。本籍地の変更があっても、登録される「本籍地都道府県名」が変わらない場合、名簿上の情報は実質的に変わらず、訂正申請の義務は発生しない。応用的動作能力の回復の主は作業療法士の役割である。治療体操、マッサージ、電気刺激、温熱等の物理療法は医師や柔道整復師も行える。免許証は厚生労働大臣が交付する。

設問5

理学療法士及び作業療法士法の規定で正しいのはどれか、1つ選べ。

A1	理学療法士国家試験及び作業療法士国家試験は、毎年1回、都道府県知事が行なう。
A2	理学療法士でない者は、機能療法士その他理学療法士にまぎらわしい名称を使用してはならない。
A3	理学療法士養成施設において、2年以上理学療法士として必要な知識及び技能を修得したもの
A4	厚生労働大臣は期間を定めて理学療法士の名称の使用の停止を命ずることはできない。
A5	理学療法士国家試験に合格した者は自動的に理学療法士名簿に登録される。

正解 A2

理学療法士国家試験は厚生労働大臣によって実施される。修業年数は3年以上である。厚生労働大臣は期間限定で停止できる権限がある。国家試験合格後に登録手続きが必要である。